藤山小学校人権教育だより

ぬくもり

2023. 8. 28
NO. 1

人権教育で、人のぬくもりを学んでいきます

本校では「人権の尊さを重んじ、差別を許さない心を育て、人と助け合い、認め合いながら共に生きていこうとする子供の育成」をめざし、人権教育に取り組んでいます。

「人権教育」というと、「様々な人権課題や差別について学ぶこと」というイメージをもたれている方も多いのではないでしょうか。

確かにそのような学習もしますが、人権教育は、ただ人権課題について学び、差別を受けている立場にある人たちのことについて考えるだけの学習ではありません。

人権教育とは、様々な人権課題や差別を受けている立場にある人たちの生き方に学びながら、最終的には、自分自身について、あるいは、自分と家族や友だちとの関わりについて「見つめ直す」学習です。そして、お互いの違いを認め合いながら、人と対等につながることの大切さやすばらしさについて学び、自分のこれからの生き方を考えていく学習なのです。

ですから、「国語」「算数」のように決められた時間だけで行う学習ではなく、子どもたちが学校に来て帰るまでの間、学校生活全体の中で学んでいくことになります。

差別や偏見は、人と人とのつながりを断ち切る「冷たいもの」です。人権教育は、人と人とをつなぐ、「あたたかく、やさしいもの」です。

１年間、人権教育を通して、子どもたちは、人の「ぬくもり」について学んでいきます。

今年度の人権教育参観日は、

９月２６日（火）です。

５校時	授業参観	13:35～	14:20	各教室
６校時	人権教育講演会	14:30～	15:15	体育館
	「こころのバリアフリー」		松井　恵子先生	
	５，６年生児童　保護者　教職員			